

あなたに届ける議会のホットニュース

議会だより

URESHINO うれしの

No.43

平成28年10月27日発行

9月議会の
ニュースのとびら



▲運動会で元気いっぱい走りまわる子どもたち（轟小学校）

政務活動費どう使う

嬉野市議会は他市町より厳しい基準となっている。その内容は

P24

平成27年度決算を認定

市民のお金を使った各事業がより良い効果をあげているか審査を行い、意見を添えて認定した。

P2
~5

私たちのお願い どうなった

議員とかたろう会での市民の声に対する執行部の回答

P10

補正予算を審議

9月補正予算の中身を鋭く審議した内容

P6
~7

委員会レポート

常任委員会の先進地視察研修の報告

P22
~23

活発な一般質問

今回も15名の議員が活発な議論をくり上げた

P11
~21

中学生の声

市内中学生の「夢・思い」を掲載

P24

発行=嬉野市議会 編集=議会広報編集特別委員会

〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769 TEL.0954(66)9127 FAX.0954(66)2887

を認定



▲ふるさと応援寄附金を使って改修される伝建地区

平成28年第3回定例会は9月2日に招集され、10月3日まで32日間の日程で開催された。
 本定例会には、報告6件と条例の一部改正5件、市道路線認定1件、平成28年度補正予算3件、平成27年度決算認定10件の併せて19件の議案が提案された。慎重審査の結果、9月20日、平成27年度決算認定10件を除く9件の議案を可決した。その後、9月26日、決

算特別委員会を設置し、平成27年度一般会計・特別会計・水道事業会計など10件の決算認定について慎重審議を行い、10月3日に意見書提出について3件の発議と併せ、全会一致により可決し、第3回定例会が閉会した。（賛否表は9P）
 今議会において一般質問は15名の議員が3日間にわたり、市政全般について、執行部へ鋭く質問を行った。

ふるさと応援寄附金が大幅増 10億87万5千円に

平成27年度一般会計決算

状況は、歳入総額157億7530万円（前年度比2.2%増）、歳入総額は152億7411万円（前年度比2.3%増）で3億3797万円増）。自主財源比率は38%（前年度比2%増）で4億6240万円増）と増加し、依存財源比率は62%（前年度比1.3%増）、1億2443万円減）と減少した。理由として、国庫支出金や市債の減少が主要因で

ある。

歳出総額は152億7411万円（前年度比2.3%増）で3億4513万円増）。増加の要因として、ふるさと応援寄附金基金積立金等の総務費や国民健康保険繰入金等の民生費、また、合併特例債償還金等の公債費などが増加の主な要因となっている。ただ、実質収支で黒字

となったものの、財政調整

基金積立金等への繰り入れで実質単年度収支は1億7800万円の赤字になり、今後注視する必要がある。国民健康保険特別会計は実質収支2億8820万円の歳入不足となり、昨年同様、翌年度繰上充分で対応している。後期高齢者医療特別会計ほか7特別会計について

は実質収支総額7066万円となり、各会計とも黒字決算となった。

水道事業会計は損益勘定で3600万円の赤字だが、資本勘定においては損失が生じ、過年度分留保資金で補填された。

主な財政指標

区分	平成27年度	平成26年度
財政力指数	0.388%	0.384%
実質収支比率	5.8%	5.7%
経常収支比率	86.4%	89.4%
実質公債費比率	7.7%	8.4%
将来負担比率	78.4%	84.5%

財政指標用語の説明

財政力指数とは

基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値で、指数が1を超える場合や1に近づくほど財政に余裕がある。

経常収支比率とは

義務的性格の経常経費に、地方税・地方交付税等を中心とする経常一般財源収入がどの程度充当されているかで財政構造の弾力性を判断する。

公債費比率とは

地方債の元利償還金の一般財源占める割合。財政運営上10%を越えないことが望ましい。

平成27年度 一般特別水道事業 会計決算

決算状況

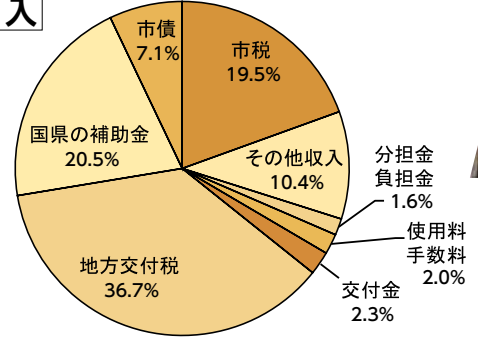
各決算の状況

[単位 万円]

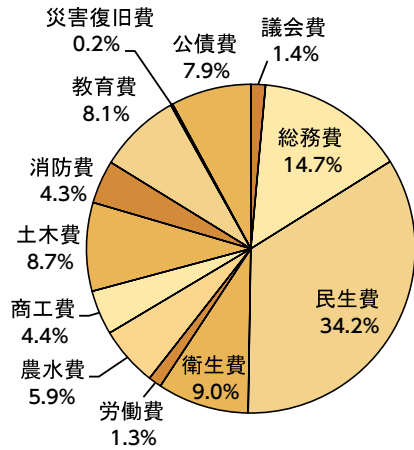
会計名	総収入	総支出	差引額		
一般会計	157億7530万円	152億7411万円	5億119万円		
特別会計	国民健康保険	44億9831万円	47億8652万円	▲2億8821万円	
	後期高齢者医療	3億2491万円	3億2376万円	114万円	
	農業集落排水	3億2548万円	3億1565万円	983万円	
	公共下水道	3億8461万円	3億7348万円	1113万円	
	浄化槽	7667万円	7416万円	251万円	
	第七土地区画	2億8911万円	2億8121万円	790万円	
	第八土地区画	1億3935万円	1億2815万円	1120万円	
	嬉野温泉駅周辺	6億794万円	5億8099万円	2695万円	
	水道企業会計	収益的収支	水道料金他	経費支出	残高
			6億4634万円	6億89万円	4545万円
資本的収支		補助金他	工事費償還金他	留保資金より支払い	
	1億2854万円	3億1052万円	2億2452万円		

一般会計の状況

歳入



歳出



一般会計とは、市税や地方交付税等を主な財源として、人件費や扶助費等の基本的な経費を組み入れて計上した会計で市の予算の中心となる。

特別会計とは、国保のように特定の人たちがお互いに助け合うことを目的とした事業や、農集排事業の利益を受ける人たちが利益を受ける人たちが負担するお金を中心に運営される事業。他に公共下水道や浄化槽、第7・第8土地区画、嬉野温泉駅周辺土地区画等がある。

一般会計と特別会計の相違点は

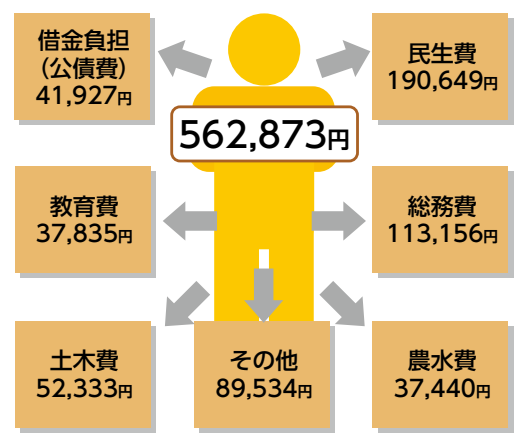
水道事業会計は、民間会社と同様で、水道事業の経営活動で発生する料金収入などの収益(収入)と、それに対する製造経費、人件費や固定資産の減価償却費などの費用(支出)が計上される。

収益的・資本的収支とは

水道事業会計において、経営規模の拡大に係る資産の取得に要する経費や企業債の元金償還金などの支出と、一般会計補助金や企業債などの収入が計上される。

収益的・資本的収支とは

市民 (27,136人) 一人当たりになると
平成 28年 3月末現在





▲決算審査をする総務企画委員会の分科会

貯金はこれだけ

基金の内訳	
貯金の項目	平成27年度末
財政調整基金	15億6682万円
減債基金	11億1835万円
地域づくり推進事業基金	4億1483万円
ふるさと応援寄付金基金	3億4万円
地域福祉基金	4億6405万円
ふるさと水と土保全対策基金	2041万円
公共施設建設基金	2億3827万円
学校建設基金	59万円
奨学資金積立金	5620万円
人づくり振興基金	5000万円
下水道事業基金	1億3773万円
土地開発基金	1億75万円
高額療養費資金貸付基金	730万円
肉用繁殖牛導入事業基金	2142万円
用紙類購入基金	123万円
合併振興基金ほか	13億3677万円
教育環境支援基金	7万円
合計	58億3487万円

借金はこれだけ

地方債（借入金）の内訳	
借入金の項目	平成27年度末
総務関係の借入金	7億1717万円
減税関係の借入金	1億2693万円
土木建設・公営住宅の借入金	5億1694万円
防災関係の借入金	6464万円
教育関係の借入金	4億1637万円
災害復旧債	2095万円
その他	6億6206万円
①臨時財政対策債	50億1821万円
②合併特例債	52億1513万円
③その他特例債	2億2915万円
合計	129億8755万円

景気減速等の影響による個人消費や民間設備投資の回復遅れが見られる中、市税全体の収納率は、前年度比72.9万円増の26億4076万円で徴収率は82.7%、前年比0.9ポイント向上した。

市税の不納欠損額は、固定資産税の増加により前年比43.4%と大幅に増し、1億2151万円と増えた。

収入未済額は、前年

度より12.9%減少の4億3054万円となり、固定資産税の収入未済額が75.7%を占めている。

前年に引き続き収納率向上に取り組んだ努力を評価するが、今後は、県滞納整理推進機構との連携やインターネット公売など滞納処分や滞納整理の強化等、実効性のある収納対策の強化が必要である。

市税の徴収率は微増 なお求められる向上対策

市税の徴収状況（現年課税分）

科目	収入予定額	収入額	徴収率	前年度比
市民税	10億3669万円	10億2148万円	98.5%	104.7%
固定資産税	11億7106万円	11億2613万円	96.2%	137.4%
軽自動車税	8045万円	7812万円	97.1%	105.3%
たばこ税	2億7247万円	2億7247万円	100.0%	100.0%
入湯税	7277万円	7264万円	99.8%	103.5%
計	26億3346万円	25億7086万円	97.6%	119.3%

議会から改善を指摘 防犯灯設置事業の再検討を

平成27年度決算審査特別委員会は、議長と議会選出の監査委員を除く16名の議員で設置し、一般会計、特別会計（8件）歳入歳出決算、ならびに水道事業歳入歳出の合計10件の議案を各分科会において詳細な説明を受け、事情聴取を行ない慎重に審査を行った。また、今回より現地調査を行ない、今まで以上に内容のある決算審査となった。

一般会計歳入は、ふるさと応援寄附金や市税・地方消費税交付金の増加で前年度より上回っている。

また、徴収率は全体的に向上し、要因として県滞納整理推進機構等他機関との連携やインターネット公売などを取り入れたためと考えられる。

歳出は、塩田中学校や社会文化会館など大型事業の完了で大きく減額となったが、合併特例償還金の増額やうれしの茶交流館建設事業開始により前年度より増額となっている。

審査の結果、議会から以下の指摘を行った。

指摘事項の主なもの

決算審査に係る指摘事項報告書

『総務課』

☆防犯灯事業は10年計画で3年が経過し約900基が設置された。残り約2100基を早急に設置するよう検討を図るべきである。

『財政課』

☆ふるさと応援寄附金は緊急性の高い案件にも充当を望む。

『うれしの温泉観光課』

☆観光施策は成果がみられる。更なる交流人口に向けた努力を期待する。

『税務収納課』

☆徴収努力は十分認められるが、更なる収納率向上に向け担当人員数の検討をすべきである。

『企画・企業誘致課』

☆地域公共交通の重要性は認めるが、早急に事業の再編や交通弱者のニーズに沿って地域に合った運行方法を見直す必要がある。

『健康づくり課』

☆脳ドック事業は受診希望者が多く、疾病の早期発見に大きく効果をあげている。今後は医療機関と協議し受診者枠の増を検討すべきである。

『福祉課』

☆被保護者就労支援事業は、生活保護受給者等の就労自立促進に向けて受給者の就労意欲の喚起に大きく寄与されている。今後、更なる努力を期待する。

『子育て支援課』

☆一時預かり事業の利用者が大幅に減少している。また、子育てファミリーサポート事業や地域子育て支援拠点事業の利用者も激減している。早急に要因を突き止め対応すべきである。

『市民課』

☆マイナンバーカードの交付手続き時には、暗証番号等の個人情報の取り扱いに慎重な対応を望む。

『市民協働推進課』

☆結婚支援推進事業において当委員会が施策提言した佐賀県「さが出会いサポートセンター」との連携については、未だ取り組まれていない。早急に取り組むべきである。

『文化・スポーツ振興課』

☆スポーツ推進委員事業で出張スポーツ教室の計画をされているが、ほとんど実施されていない。事業の見直しを含め再検討が必要である。

『農林課』

☆有害鳥獣被害防除対策事業は、イノシシ駆除は増加傾向にある。アライグマについても毎年増えてきている状況であり、引き続き予算確保も含めしっかりとした体制を望む。

『建設・新幹線課』

☆市営住宅は、湯野田・内野山の市営住宅は老朽化が進んでおり、嬉野市総合計画後期基本計画の予定戸数をふまえ、今後の市営住宅のあり方について早急に検討すべきである。

『環境水道課』

☆生活排水処理施設整備構想の見直しは、担当課において改正案が作成されている。今後は速やかに各審議会等をおこない、市民に対し整備事業の内容について早急に周知すべきである。

『農業委員会』

☆農業者の高齢化と機械の大型化などの理由により、年々耕作放棄地が増えつつある。今後の農業施策展開のためにも耕作放棄地の実態について把握されることを望む。

『うれしの茶振興課』

☆うれしの茶海外販路開拓事業は、茶産地の生き残り策として重要な施策のひとつになるものとする。引き続き行政・生産者・JA・商社など関係者と協議し事業の推進を図るべきである。

最後に、「歓声が聞こえる嬉野市」を目指し、各会計の円滑な運営を図るべく、事業に関わる職員の尚一層の努力を期待し、委員会の指摘とする。

児童保育室を設置 五町田小

6億4628万円を補正

一般会計総額で153億3487万円に

児童保育室

設置に

2592万円

問 どの小学校に設置するのか。

答 五町田小学校に校舎とは別に建設する。

問 五町田小学校ではこれまで空き教室を使用してきたはずだが。

答 来年度の入学児童数の増加が予想され、1年生が2学級になる。そのため、現在児童保育が行われている教室を返してほしいと学校側からの要請があった。

問 児童保育の児童数が70名余りと定員（40名）を超えているが、どうするのか。

答 2教室を増やす。

問 他の小学校でも児童保育室を建設するのか。

答 全体的に、児童数は減ってきているので、現在の教室で対応できる。

子どもの貧困

実態調査に

316万円

問 この調査の目的は。

答 国の地域子どもの未来応援交付金で、子どもへの貧困について地域の実態を調査把握する。

問 調査の内容は。

答 市内の0歳から17歳までの子どもを持つ保護者2000世帯を対象にアンケート調査を実施する。

問 この調査は誰が実施するのか。

答 プロポーザル方式で専門の業者を選定し、分析までしてもらおう。

問 調査結果はどのように活用するのか。

答 施策に生かしたい。

嬉野中体育館

天井改修事業に

8245万円

問 前年度繰越事業なのにどうして工事が膨らんだのか。

答 専門家による4月の工事設計の段階で、天井裏にある点検通路の撤去作業と新たに雨漏り箇所が見つかった。さらに、体育館の照度が足りない事がわかり、

天井照明器具を24台としていたが、あと6台が必要となり追加した。

問 最初の見積もりが甘かったのではないか。

答 甘かったと言われればそれまでだが、27年度に行つた他の小学校体育館の耐震改修工事と同様に見積もつていた。

問 工事期間は。

答 11月14日から来年の2月いっぱい予定で、卒業式には間に合わせたい。



▲改修される嬉野中体育館



▲災害時に対応する塩田地区防災備蓄倉庫

**防災用地購入に
1700万円**

問 場所はどこか。

答 塩田地区防災備蓄倉庫及び嬉野市ふれあいセンターの前にあった元JASAが塩田支所ガソリンスタンド跡地である。

問 購入する理由は。

答 県道から備蓄倉庫への道が狭く大型車両の出入りが難しい。また、駐車場も狭く災害時における迅速な対応に不安があった。

問 広さはどれくらいあるのか。

答 1100㎡である。

問 嬉野市ふれあいセンターに新しく移転して行く塩田地区コミュニティ事務局の駐車場としても利用できるのか。

答 もちろん通常は、使用できる。

**木造住宅
耐震診断に
225万円**

問 今回の助成理由は。地震災害が頻発して

いる昨今、住宅の安全性の判断材料として行う耐震診断の経費に助成することで地震災害に備えてもらいたい。

問 補助要件は。

答 市内に存する民間所有の一戸建て住宅又は集合住宅で昭和56年5月31日以前着工の木造住宅。佐賀県安全住まいづくりサポーター建築士により耐震を行う。

問 補助額は。

答 診断経費の3分の1にさらに半額補助で自己負担額は6分の1の費用となる。上限額がある。

問 問い合わせや申し込みはどこに。

答 詳細は総務課まで。

**さが未来スイッチ
交付金事業に
306万円**

問 交付金の目的や対象事業は。
答 地域の団体等が地域の維持や活性化を目指すイベント・サービス提供等の取り組みや、地域コミュニティの施設等の小規模な

充実強化事業に佐賀県が交付金を出し支援するもので、今回が第2回目となる。

問 今回どのような事業が採択されたのか。

答 大草野地区地域コミュニティの秋祭りの活動や皿屋・下野・三坂・山口各地区公民館の一部改修工事等。温泉区・五町田区・両岩区各地区の面浮立等の伝承芸能備品の購入や新調等の8件の事業が採択された。

**新幹線受託
事業に
1772万円**

問 この事業の目的は。
答 新幹線関連事業を市

が地元業者へ直接発注することで、地域経済の活性化に寄与することである。

問 今回の工事内容は。

答 俵坂トンネル湧水排水出等導入管設置工事、27年度に完成している受水槽までの工事である。

問 今年度で湧水関連の施設は完成するのか。

答 完成の予定である。
問 来年度から受水槽の水は農業用水等に利用できるのか。

答 利用できる。
問 利用にあたっては、水質検査を実施してもらいたい。

答 鉄道運輸機構と協議しながら水質検査を実施して、結果を公表し周知をはかつていく。

その他の主な補正予算

項目	金額
保育所等における業務効率化推進業務	200万円
保育所等整備事業	2億1600万円
定期予防接種事業	264万円
ふるさと応援寄附金	2億9877万円
間伐等森林整備促進対策事業	5620万円
施設改修(みゆき公園)	350万円
新幹線西九州ルート建設事業負担金	3443万円
浄化槽設置整備事業	193万円



▲子育て支援センターに集う母子

子ども保育の充実で

家庭的保育事業等の設備・運営基準を見直し

9月定例議会に請願2件・陳情2件が提出され、請願は委員会付託をし、慎重な審査の結果、採択し意見書として提出した。その他に議員発議で1件の意見書を提出し、慎重な審議をおこなった結果、全会一致で採択した。

改正した条例

- 問** 今回の改正理由は。
- 答** 小規模保育事業の緩和で、事業に参入できやすくなるためである。3歳未満の乳幼児が対象となる。
- 問** 保護者等関係者には説明はあるのか。
- 答** 本市では該当事業所がないが、申請があれば説明する。
- 一部改正した条例
- ・ 嬉野市長及び議会議員の選挙に関する条例
 - ・ 嬉野市総合戦略推進委員会に関する条例
 - ・ 嬉野市職員の育児休業に関する条例
 - ・ 嬉野市公益的法人等への職員派遣の条例
 - ・ 嬉野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めた条例

市道の認定

- 市道嬉野小学校3号線
 - 市道嬉野小学校4号線
 - 市道嬉野小学校5号線
 - 市道嬉野小学校6号線
- 4 認定路線とも、起点は、すべて嬉野町大字下宿字3本松で、終点は、すべて嬉野市嬉野町大字下宿字3本松である。

国に意見書を提出

9月定例議会に請願2件・陳情2件が提出された。請願は委員会付託し慎重な審査の結果、採択し意見書として提出した。その他に議員発議で1件の意見書を提出し、慎重な審議をおこなった結果、全会一致で採択した。

請願

地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する請願書

請願者 自治労佐賀県本部
執行委員長 原口郁哉
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係わる意見書の採択に関する請願書

陳情

工事発注における市内下請け業者選定を求める
嬉野市

小原健史
福田文夫
他4名

玄海原発事故の備えとして安定ヨウ素剤の市民への事前配布を求める
佐賀市 石丸初美
野中宏樹

地方財源の充実・強化を求める意見書

地方財源は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷などで、厳しい状況が続いている。基本自治体である市が住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには地方の財源需要をつかみ、地方の財政計画により的確に反映することで、一般財源総額を確保されることを求める。

地方財源の充実確保については地方が担う事務と責任に見合う税配分を基本として、税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系を構築することを求める。

教職員定数と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係わる意見書

豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成する上で義務教育水準の維持向上を図ることが重要である。子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進し、教育の機会均等と水準の維持向上を図るために義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。



▲国政が議論される国会議事堂

参議院の合区解消を

日本国憲法が公布されて以来、今日に至るまでの70年間、二院制を採る我が国において、参議院は一貫して都道府県単位で代表を選出し、地方の声を国政に届ける役割を果たしてきた。最高裁判所の判例を踏まえた選挙制度改革により、7月に合区による選挙が実施された。

地方が、人口流失に歯止めをかけるために努力を重ねている一方、単純な人口割のみでの選挙区割り、地方からの選出議員の減少や、多様な意見が参議院を通じて国政に反映されにくくなると予想される。今回の合区による選挙は緊急避難措置として、抜本的な見直しが必要であり、枠組みの見直しや面積要件などの議論を進め、合区を早急に解消する措置が講じられるよう強く求める。

意見書とは

地方公共団体の議会、地方自治法第99条において、地方公共団体の公益に関わる事柄について、議会の議決に基づき、議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、国会、関係行政庁に提出できるとされている。法的拘束力はないが、住民代表である議会の総意として尊重される。

議案の賛否 どう判断

賛 否 表

○は賛成 ●は反対

議案番号	議案名	結果	番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
			生田健児	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	辻浩一	山口忠孝	田中平一郎	山下芳郎	山口政人	芦塚典子	大島恒典	梶原睦也	田中政司	織田菊男	西村信夫	山口要	
議案第72号	平成27年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	平成27年度嬉野市国民健康保険特別会計決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	平成27年度嬉野市農業集落排水特別会計決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	平成27年度嬉野市都市計画下水道及び公共下水道特別会計決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	平成27年度嬉野市浄化槽特別会計決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	平成27年度嬉野温泉駅周辺土地整理事業特別会計認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	平成27年度嬉野市水道事業会計決算認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

私たちの願いどうなった

議員とかたろう会の要望にお答えします。

今回で、14回目となる「議員とかたろう会」を平成28年7月19日から22日までの4日間開催しました。

「議員とかたろう会」において市民の皆様より要望があった意見を議員間で集約し、執行部に対して申し入れを行いました。その回答の一部を紹介します。

各小学校への送迎アクセス道路の確保を

答 学校では、出来る限り自分の力で登下校を行うよう指導している。保護者に対しても少々の雨が降っても出来る限り自分で登校させるようお願いしている。

しかしながら、年に数回の大雨や大雪で保護者に送迎を求めるところもあるが、児童生徒の安全確保のため、各学校の状況に応じて降車場所を設定するなどのお願いをしている。

ガレージ朝市、今後どうなる

答 「長寿社会づくりソフト事業交付金事業」に5つのコミュニティから5件応募があり、1件だけ採択されたものが「ガレージ朝市」である。計画申請にあたっては、コミュニティ内部で慎重審議がなされた。事前周知や住民への意向調査等を行わなかったことは今後の反省材料としたい。補助事業後は、利用者などの声を参考にしながら、より良い方向性を模索しつつ継続していきたい。

LED防犯灯設置事業の早期着工を

答 市内の既存防犯灯は約三千本以上設置されており、将来的には全防犯灯をLED化する方向で事業を実施する。計画では約10年程度を目処に、毎年三百本程度を施工している。LED化費用がかなり高額になり一度に多くの設置は望めない。電気料金については、LEDに交換した地区により若干違いもあるが、1本当たりの料金が百三十二円から百三十九円程度安価になる。

うれしの茶交流館の事業展開は

答 過去の農具等の展示によりうれしの茶を学べるほか、うれしの茶に関する様々な体験を通し、地区住民と観光客の交流やうれしの茶の情報発信を目的に、平成30年度開館を目標に現在造成工事を行っている。現在嬉茶楽館で開催されている茶ミット等、生産者や茶商の方々が実施するイベントを交流館で開催することにより嬉野茶の情報発信に協力いただければと考えている。

久間コミュニティセンターの授産場の早期移転を

答 久間地区地域コミュニティセンターの現状は駐車場の問題等から早期移転の必要性を感じている。候補地を検討する中で、関係各課や久間小学校、久間地区地域コミュニティを交えた話し合いで、授産所の土地を活用することが有力な選択肢となっている。

今後、機能や財源、周辺への影響調査など具体的な検討の中で絞り込むことになる。

コミュニティ活動はイベントのみならず地についた活動を

答 設立当初は認知度を高めるための活動や参加を促すためのイベントを含む交流事業が主流であった。最近では地域特性を活かした課題解決のための事業も行われるようになったが、当初の事業メニューを継続した形になっていることは否めない。今後は課題解決事業の実施を主眼とし地域住民が住み良さを実感

自主避難をどうする

答 自主避難については、余裕のあるうちに移動し、必要なものをほとんど自由に持つていくことができる。災害によっては自宅2階に避難する方もいる。このような理由から、自主避難された方には市から特段の支援は行っていない。各地区の公民館の安全性は、全ての地区公民館が安全ではない。地区公民館の立地や建物の強度は区長等が知っている地区もあるので、地区で検討し、開放の有無を判断することになる。



▲7月に開催された議員とかたろう会（大草野研修センター）

15議員が質問

山口 政人 議員
(P12)

芦塚 典子 議員
(P12)

森田 明彦 議員
(P13)

山口 忠孝 議員
(P14)

山下 芳郎 議員
(P14)

大島 恒典 議員
(P15)

増田 朝子 議員
(P16)

西村 信夫 議員
(P16)

辻 浩一 議員
(P17)

田中 平一郎 議員
(P18)

田中 政司 議員
(P18)

梶原 睦也 議員
(P19)

宮崎 良平 議員
(P20)

生田 健児 議員
(P20)

山口 要 議員
(P21)

お茶の間で議会を



・インターネット中継・録画放送
・有線テレビ放送
(放送については議会事務局にお尋ねください)

← 次ページは
一般質問

市政を 問うを

9月議会

忙しい9月議会

日付	曜	議会関連	内 容
9月 2日	金	本会議	開会、会議録指名議員指名、 会期の決定、諸般の報告、 議案一括上程、委員長報告
		委員会	議案の詳細説明
3日	土	休会	
4日	日	〃	
5日	月	〃	
6日	火	〃	
7日	水	委員会	常任委員会
8日	木	休会	
9日	金	本会議	一般質問
10日	土	休会	
11日	日	〃	
12日	月	本会議	一般質問
13日	火	本会議	一般質問
14日	水	休会	
15日	木	本会議	議案質疑（補正予算）
16日	金	休会	
17日	土	〃	
18日	日	〃	
19日	月	〃	
20日	火	本会議	討論・採決
21日	水	〃	議案質疑（決算）
22日	木	休会	
23日	金	〃	
24日	土	〃	
25日	日	〃	
26日	月	本会議	決算特別委員会
27日	火	本会議	決算特別委員会
28日	水	本会議	決算特別委員会
29日	木	本会議	決算特別委員会（取りまとめ）
30日	金	休会	
10月 1日	土	〃	
2日	日	〃	
3日	月	本会議	討論・採決・閉会

このあと広報編集委員会(平成28年10月)

日付	曜	議会関連
3日	月	全体構成と担当決め
4日	火	編集作業
5日	水	編集作業
6日	木	印刷会社へ原稿提出
14日	金	第1稿確認
18日	火	第2稿確認・最終チェック
27日	木	印刷仕上がり納品
28日	金	文書配送



▲研修センター予定地の元授産所跡地

久

間研修センターの 移転はどうなるか

答

早い時期に移転できるように
努力する

山口政人 議員



山口 久間研修センターの移転スケジュールは

どうなっているか。

市長 久間地区の地域づくりの拠点として機能

できるような施設建設計画を策定中で、地方創生の交付金も検討していて早まることもあるが、29年以降の早い時期に移転

できるように努力したい。

山口 場所はどこか。

市民福祉部長 久間の元授産所跡地を検討している。

山口 29年度予算に計上できるか。

市民福祉部長 努力する。

防犯灯の設置を

山口 北下久間地区他

2地区が関係する市道大草場椿線に防犯灯の設置はできないか。

市長 防犯灯の設置は地元をお願いしている。

山口 できない理由や根拠はなにか。

建設新幹線課長 道路の交差点部については照明灯の設置ができる。

山口 この市道はT字の交差点であるが。

建設新幹線課長 現地は確認しているので、電柱を立てる場所も含めて検討したい。

西山地区の市道改良を

山口 西山地区から武

雄市に接続している市道が狭い。武雄市に改良要

請できないか。

市長 市道西山線は武雄市の市道玉島西山線と

接続しているが、改良要望は可能と思うので検討したい。

建設新幹線課長 武雄

の建設部局と早い時期に十分協議したい。

久間工業団地の今後は

山口 農地転用の申請

は怎么样了しているか。

企画政策課長 県は、進出企業が決定していないのに農地転用の申請は

できないとの回答である。

山口 この団地に特化した企業誘致に努力していくべきだ。

市長 実現に向け、県と一緒に誘致活動を行う。

住宅耐震化の補助は

山口 住宅の耐震改修

費用を補助する国の制度を導入する考えはないか。

市長 県と協議をし、県内市町の状況等踏まえて検討していきたい。

校生の市内就職が 少ないが

芦塚典子 議員

高

答

企業に市内高校生の採用をお願いしている



芦塚 市内の高校生の

市内事業所に就職する割合はどれくらいか。

市長 今年3月卒業の塩田工業高校・嬉野高

校の市内在住の高校生104名のうち7名が市内事業所に就職をしている。

芦塚 市内就職率は少ないのでは。また今年進出した企業は、市内の高

校生を採用するのか。

企画政策課長 現在社員5名であるが、来年度

の採用をお願いしている。

住宅関連産業の誘致を

芦塚 人口増に向けて

団地造成や新幹線駅周辺に団地やマンション建設などにつながる住宅関連産業の誘致ができないか。

建設新幹線課長 住宅の建設と考えるのであれば、

今の計画には新幹線駅周辺には住宅用地での計画はない。第7・第8区画整理区域を優先するべきと考える。

教育行政について

芦塚 小学校高学年の

外国語導入について伺う。

教育長 小学校5・6年生が現在、週1時間の授業を受けている。

芦塚 1年生からの英語教育はできないか。

教育長 人的な予算措置が進めば、総合教育の中で計画案はある。

芦塚 理数教育の充実

野温泉商店街道路の 点検や管理状況は

森田明彦 議員

答 状況確認し、利用者の 安全確保に努める



森田 昨年10月、本通りの敷石につまずき、女性けがをされた。さらに今年7月には道路の砂利石を通行車両が跳ね上げ店舗ウインドーに当たっている。これらの事案を踏まえ、道路の点検や管理状況はどうしているか。

市長 パトロールや沿線住民からの通報で不具

合があった場合、担当課でその都度補修している。今後はパトロールの際に状況確認し、除去や清掃等も行いながら安全確保に努める。

森田 私も改めて通りを歩いて、雨の影響で砂利化した箇所を確認した。また、複数の店舗の方に尋ねたところ、雨後の水はけが悪く、一定量の雨が降ると通りを川のように流れ、その後、水溜りができ、歩行者や観光客の方に迷惑が掛かっているとのことであるが、担当課は承知しているか。

建設新幹線課長 常日頃、利用者から連絡を頂き、アスファルト合材を流し込み、その都度対応をしている。

住宅の耐震改修費用の補助制度導入計画は

森田 全国で8割の市町村が導入済みである。嬉野市では、過去に大きな地震の経験がないため、今まで導入に至っていないと理解してよいか。

市長 嬉野市は地震が



▲傷んできた嬉野本通りの路面

少なく耐震という考え方がなかった。

森田 9月議会で耐震診断の予算が計上された。住宅の耐震改修費用の補助制度もセットで出てくるべきではないか。

市長 他自治体の動きを見ながら検討をする。

リフト付き高速バス導入の提案を

森田 現在、嬉野温泉ではバリアフリー観光に努力をされている。さら

を図る施策を伺う。

教育長 OECDの国際学力調査では日本の子どもの学力は上がっている。

吉塚 理科・数学の学力向上のため、理科支援員を活用できないか。

教育長 県教委から派遣で理科に特化した指導をした経緯もあるので、取り組みを進めていきたい。

吉塚 学校でのICTの活用に格差があるので

は。

教育長 平成27年度までに電子黒板が入ったので、デジタル教科書を併用した授業が進んでいる。情報教育支援員を配備して情報教育を行っている。

吉塚 チーム学校に関する考えは。

教育長 いち早く校長会議を開き、学校職員としての在り方や状況、地域の支援等、コミュニケーション・スクールもあり情報提供しながら進めている。



▲高校生の採用を増やしてほしい進出企業

公園の川の浅瀬では水遊びは可能か

山口忠孝 議員



答 水遊びができる
数少ない場所だ

山口 夏は木陰がなく秋は紅葉も少なく風情が感じられない。地元の方々による花や樹木による景観づくりはできるのか。

建設新幹線課長 管理者と地元の方々との協議の上で可能かと思う。

山口 駐車場や進入路が狭く不便だが。

建設新幹線課長 地元の方に相談できるようにであれば出向いてみたい。

山口 公園や遊歩道を健康づくりの場として活用するためウォーキングマップの看板を設置したかどうか。

健康づくり課長 建設・新幹線課と協議して検討してみたい。

介護予防にどう取り組むのか

山口 嬉野市の要介護認定率はどうなっているのか。

福祉課長 ここ2年間は19%台と横ばいの状況である。

山口 介護保険の方はどうなっているのか。



▲火災現場へ急行する消防団

火災の現場が特定できる通報を

答 改善を杵藤消防本部へ要望している

山下芳郎 議員



山下 先日の大型観光施設の火災で建物の固有名称が通報されなかったが、個人情報保護法の問題で特定しなかったのか。

市長 杵藤消防本部の見解はそうである。自動

放送システムの改善を要望している。

山下 費用は伴うが、初動通報が生命に関わることもあり、早急に改善を望む。ホームページ・タブレットで消火栓の位置を表し、火災発生場所を点滅表示できないか。

総務課長 消防水利の情報は、作成中である。

山下 本部・消防署に交えた火災の臨場感のある訓練が必要ではないか。

総務課長 今は消防団独自の訓練であり、連携も含めた訓練を検討する。

広川原キャンプ場の魅力づくりは

山下 施設はバリアフリー対応に改装して充実したが、課題や利用者の要望はないか。

市長 携帯が十分使えないが、大きな課題はない。

山下 大野原高原など周辺の自然を活かした魅力づくりが必要と思うが。

市長 すばらしいことであるが、案内人が必要であり研究を要する。

山下 日本キャンプ協会に加盟することで相互の情報と会員の交流もでき、スキルアップになるが。

市長 早急に研究する。

山下 地元の管理者も高齢化であり、運営方法を公設民営方式に変えることは考えられないか。

市長 受理できる団体があるのか研究する。

今後の観光をどうする

山下 地域の素材を活かす観光に地旅がある。嬉野は体験型など一点も商品化されていないが、今後、どうするか。

うれしの温泉観光課長 今後、検討する。

山下 観光ボランティアガイドが休止状態であるが、今後どうするか。

市長 観光振興で重要であり、ガイドの育成など研究する。

山下 合併当初の約束事の源泉集中管理の方向が見えないが、今後はどう考えているのか。

市長 モニタリングシステムで集中管理をしていく。

介護予防に
取り組まないと介護保険
給付は増大し保険料負担
も増大してくるので、介
護予防の取り組みを重要
視している。また、平成29
年度には新しい生活支援
事業が杵藤広域圏で始ま
るので、より介護予防に
力を入れたい。

大人は子どもの時間を奪っていないか

山口 次期学習指導要
領改訂案で教える内容が
増えているが。

教育長 二学期制や夏
休みを短くして時間数を
確保している。

山口 在宅医療との連
携は。

福祉課長 医療や介護、
介護予防、生活支援等の



▲水遊びしたい轟公園洗濯板

大島 定住奨励金につ
いて検証や見直しは行っ
ているのか。

市長 申請時にアンケ
ート調査を行って検証し
ている。

大島 奨励金が転入の
動機づけになっているか。

企画政策課長 周辺市
町よりも優れており転入
したとの回答もいただい
ている。



若 年層を呼び込む
施策を
大島恒典 議員

答 取り組めるか
検討していく

大島 空き家バンク制
度を利用した移住者対策
は検討しているか。

市長 空き家バンクへ
の登録やリノベーション
助成制度の創設、また、
お試し移住の促進など取
り組んでいきたい。

大島 若年層や新婚家
庭向けに、民間の賃貸住
宅などを利用した場合、
家賃補助の考えはないか。

市長 低所得者向けに
結婚に伴う新生活の支援
を行う事業が創設された。
制度の詳細をつかみ、取
り組めるか検討したい。

河川の景観を守れ

大島 渇水期において
河川に滞留するペットボ
トルやレジ袋が目立つ状
況である。轟の滝から温
泉街を流れる川の景観は
市民が自慢する景観でも
あり、ゴミのポイ捨て禁
止など啓蒙や啓発してい
くべきではないか。

市長 現在、地域コミ
ュニティなど、さまざま
な取り組みを行ってもち
らっており、今後とも市民
の皆さんに協力をお願い
していきたい。

大島 温泉橋付近は土
砂が堆積してごみが滞留
しやすい状況である。水
の流れを少し変えるよう
な簡易的な事には取り組
めないか。

建設新幹線課長 基本
的に県が管理する河川で
あると考えている。もし、
できたとしても重機を下
しての作業になる。

大島 シーボルトの湯
付近に遊歩道の計画があ
ると聞く。市街地の大規
模火災時に直接取水でき
る場所の確保や重機を下
すためのスロープなども
検討すべきではないか。

建設新幹線課長 遊歩
道については強く要望し
ていく。そういう時が来
ればスロープのようなも
のも協議していく。

その他の質問
茶業振興について



▲まだ空き地が残っている区画整理用地



▲新電力を示した説明図

新

電力の導入で 経費削減を

答 積極的に検討する

増田朝子議員



増田 塩田庁舎・嬉野
庁舎の27年度の電気料金

総額と電気料金に対する
考え方は。

市長 塩田庁舎は
585万2417円。嬉
野庁舎は601万2327
円。デマンドコントロー
ルシステムやLED照明
の導入(嬉野庁舎は導入

をしていない)、クール
ビズの徹底で節電をはか
っている。今後は設備投
資を行うか、新電力に切
り替えるか検討している。

増田 小中学校の27年
度の電気料総額と今後に
対する考え方は。

教育長 総額で221
3万7070円。夏場と
冬場の電気・空調を多く
利用する期間は小・中学
校空調設備運用基準によ
り適正な運用を行ってい
るが、現在の供給体制が
できることを条件に検討
してもいいと思う。

増田 新電力会社から
セールスやアタックがあ
ったか。

財政課長 5社あった。
増田 来年度から積極
的に導入を考えているか。

財政課長 安定供給が
クリアでき、削減につな
がれば導入していきたい。

増田 教育長はどうか。
教育長 市長部局と教
育委員会の同じ歩調でや
っていきたい。

女性の活躍に取り組み

増田 女性起業セミ

ナー開催の計画はないか。
市長 アバンセ主催で、
平成24年に4回シリーズ
で行った。

増田 嬉野の女性も
っと輝けるように、女性
が起業し、社会に関わり
女性視点で物をいえるよ
うに、市単独の女性セミ
ナーの開催を開催して欲
しいかがが。

市長 検討し、研究し
ていきたい。

子育て支援について

増田 子どもセンター
の進捗状況はいかがか。

子育て支援課長 関係課
や市長との打ち合わせを
行い、整備検討委員会を
立ち上げるか、検討する。

その他
・熊本地震支援について
・ふれあい対話集会に
ついて

オ スプレイの飛行 ルート容認するか

西村信夫 議員

答 議論の結果を待つ



西村 佐賀新聞8月27
日の記事で九州防衛局が
示した「オスプレイ」飛
行ルートが佐賀空港から
大野原演習場までの想定
飛行経路を市長は知って
いたか。
市長 新聞報道がある
まで一切知らなかった。
西村 新聞報道で嬉野
市の対応として情報収集
はしたのか。

市長 まだ特に動きは
していない。

西村 オスプレイの飛
行経路が大野原演習場と
明記されたことで九州防
衛局に調査すべきではな
かったか。
総務課長 状況把握は
していない。

西村 大野原演習場ま
での飛行ルートを市長は
容認するのか。

市長 平成26年の九
州防衛局の説明では、大
野原演習場での訓練はな
いだらうと受け取ってい
た。

西村 オスプレイが嬉
野市内上空を飛行した場
合に、温泉観光地や大野
原周辺のお茶産業への影
響はどうなるのか。また、
飛行経路について住民へ
の影響を提示し市民の意
見を聞くべきではない
か。

市長 知事はじめ地域
の方々など一番関係の深
い方々と真剣に議論され
ているので、その結果を
待たざるを得ない。

農業問題について

俵坂史跡整備はどうする

辻浩一 議員

答 担当各課で協議検討する



辻 史跡の想像図の看板を掲げてはどうか。
企画政策課長 関所跡の絵図があるので、一つの検討材料だと思う。

辻 進入路の整備をするか、別の場所に駐車場を確保し、徒歩での見学にすべきではないか。
うれしの温泉観光課長 地元や地権者と協議し検討す

辻 丹生川線道路整備の今後はどう考えているのか。

建設新幹線課長 全線改良工事を進めていく予定である。

辻 垣内史跡の駐車場からの歩道整備をすべきではないか。

うれしの温泉観光課長 今年度、何らからの形で舗装整備を計画している。

辻 大茶樹の樹勢回復の工事を行なったが、その後の状況はどうか。

教育長 変化は見られない。専門家に診断を仰ぎ維持管理をしていく。

辻 不動山地区で設置していた大茶樹への道標の石柱が撤去されたままになっている。復旧できないか。

教育長 情報収集を行いながら状況を把握し、早い時期に対応したい。

辻 広川原キャンプ場への案内看板を増やすべきではないか。

産業建設部長 最盛期には間に合わなかったが、現在発注をしている。

辻 キャンプ場まで



▲整備したい俵坂関所跡地

の除草作業は最盛期前に行えないか。

建設新幹線課長 農林課と協議しながら土木事務所にお願ひしていく。

辻 春日溪谷の市道に待避所を設置すべきではないか。

建設新幹線課長 適当な場所があれば検討したい。

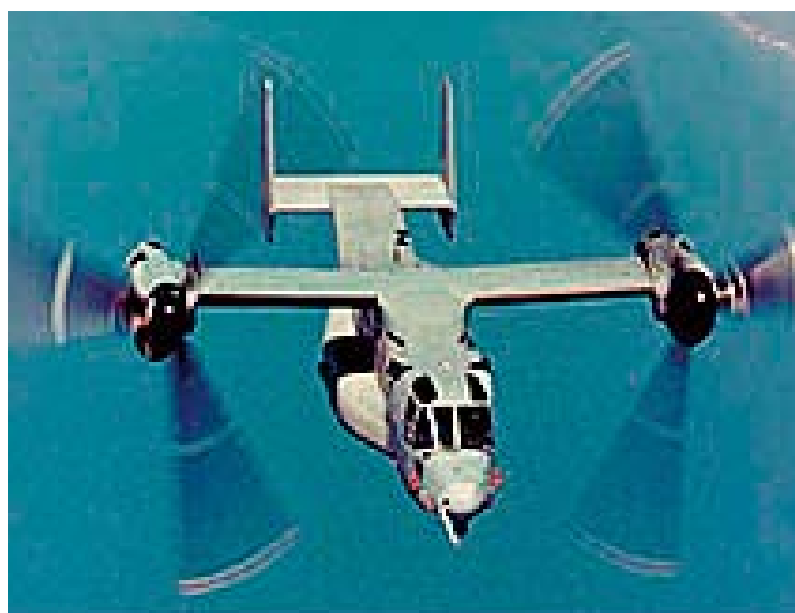
辻 多良岳林道の掃除などは、梅雨明け後にすべきではないか。

農林課長 予算内ではあるが、なお一層巡回を

し維持管理していく。

辻 市道宮の上線は孕み地蔵へのルートとなっている。今後の整備はどう考えているか。

建設新幹線課長 計画的に、路肩崩壊に対応すべく工事を進めて行く予定である。



▲動きが注目されるオスプレイ（平成28年度版防衛白書）

西村 政府はコメの生産調整「減反」を平成30年産から廃止するが、嬉野市の新たな農業政策は考えているか。

市長 生産者自ら営農計画を立てる必要に応じたコメ・大豆・飼料米などの生産が行われることが前提である。

西村 コメの直接支払交付金10アール当たり、7500円が市内生産農家全体で約5000万円

交付されているが、平成30年産から廃止される。生産農家への影響はどうなるか。

市長 厳しいコメ消費状況を考え、特色あるブランド米を作付して所得を上げるのが大事である。また、法人化などで生産コストを下げ農業経営を維持していく努力が必要である。

五 町田火の口交差点の改良どうする

田中平一郎 議員

答 早くできるように解決方法を模索している



田中 五町田火の口交差点は長い間議論されてきたが、いまだに工事が進まないのはなぜか。
建設新幹線課長 一部の地権者と、まだ協議が整わないと言うことで、なかなか工事着工に至っていない。
田中 今までどういう対応してきたのか。また、相手の方と話し合い

をされた経緯はあるのか。

建設新幹線課長 平成12年頃に、今の交差点の計画図ができ上がった。その後、平成13年から16年にかけて用地交渉や用地買収を行い、買った分は購入をした。しかし、一部の地権者と、まだ交渉が整っていない状況である。現在までの県の用地買収や交差点の形状の考え方は、地権者の方に出向いて何回となく協議をされていると聞いています。ただ、最終協議をされたのが8年前で、今の所は間があいているというような状況である。

田中 この交差点は小学生・中学生・高校生の通学路でもあるため、安全に通学できるようにできないか。
市長 県道嬉野下宿塩田線は交差点付近が特に幅員が狭く、歩行者にとって大変危険な状態である。県道を二回横断することになる。通学路の安全確保といった面からも、一日も早い工事完了を期待している。
田中 この交差点の今



▲土砂が堆積した嬉野川遊歩道

シーボルトの湯より下流の遊歩道整備は

田中政司 議員

答 整備していきたいと考えている



田中 県が河川管理の一環でシーボルトの湯より下流の根固め工を予定しているということであるが、遊歩道ということか。
建設・新幹線課長 今回の根固めは遊歩道とは別

のものである。
田中 将来はそこへ遊歩道が設置できるのか。
建設・新幹線課長 県もできるだけ協力はしていきたいということである。

嬉野川の葦や土砂の除去を

田中 シーボルトの湯から轟の滝まで、河川に遊歩道が整備されている。その途中に砂利で中州ができていたり、遊歩道が砂利で被っているところもある。また葦などの雑草が茂っているところもあり綺麗とはいえない。市で除去はできないか。

市長 河川内は県が管理者であり、県で整備するのが原則ではないかと思う。

建設・新幹線課長

予算的なものを無視すれば、協議の中でできないことはないと思う。

田中 毎年やれば何千万もかかる事業ではないと思う。遊歩道や嬉野川の風景を観光地嬉野の財産ととらえるならば、

「ふるさと納税」の財源などを利用しておこなうべきと考えるが。

市長 県の河川管理の責任の中ですべきと考えるので、強く申し入れをしていきたい。

オスプレイの想定飛行ルートの対応は

田中 佐賀空港に配備された場合の想定飛行ルートに大野原演習場が入っていたが、市長の今後の対応は。

市長 知事や関係地域の方が真剣に検討されているので、結果等については十分注目をしている。

全国お茶まじりの開催誘致は

田中 平成11年の開催からすでに17年が経過している。誘致に手を挙げる考えは。

市長 ブランド力の向上や消費拡大を進める意味でも必要と考えており、開催の候補地として手を挙げていきたい。

後の取り組みはどうか。

市長 県の土木事務所とは毎年事業調整会議を

7月頃に開催し、私も毎回出席している。火の口交差点の進捗や現状についても必ず協議をし、要望も行ってきている。市としてもできるだけ協力をし

て行く。今後は、土木事務所と解決方法を模索していきたいと考えている。

田中 相手の方も、今回は前向きな考えのよう

であり、相手の要望も聞きながら進めていくべきと思うがどうか。

建設新幹線課長 土木事務所の考え方も聞き、嬉野市としても、県の意向等を踏まえながら、協力を進めていきたいと考えている。



▲早く解決したい火の口交差点

嬉野市が誇れる施策は

梶原睦也 議員

答 保健福祉・教育施策は理解いただいていると思う



梶原 27年度は転入者が739名、転出者が953名と転出者が多いがその理由は、

企画政策課長 雇用の場の確保が影響している。
梶原 転入奨励金の効果は。

企画政策課長 転入奨励金があったから転出したとはならないものの、一つのきっかけにはなっ

た。

梶原 転入奨励金については、嬉野市ならではの他の施策とセットでPRすべきでは。

企画政策課長 まちの魅力もセットでPRしていく。

梶原 嬉野市が他自治体より誇れる施策は。

市長 他自治体と比較するのは難しいが、保健福祉・教育施策は市民に理解いただいていると思う。

梶原 これまでの私の提案について確認するが高齢者や障がい者のための救急情報キットの利用状況は。

福祉課長 一人暮らしの高齢者などに1131セットを配布している。

梶原 がん対策の一つとしての先進医療費助成制度の創設はどうなったか。

市長 助成制度の導入については、佐賀ハイマツトと嬉野医療センターの提携が決まったとの情報もあり、市としても取り組む努力をする。

梶原 以前にも質問し



▲支援して欲しい小規模商店街

たが給食費の無料化についての考えは。

教育長 今の段階で無料化は非常に厳しい。

市長 他の自治体の動きも承知している。財源として1億程度かかるが可能性があれば導入したい。

梶原 働く場所の確保は企業誘致だけではない。

まずは、市内事業者の支援や後継者の育成等に力を傾注すべきだ。

市長 商工会等と連携し努力する。

梶原 市の責務として市内事業者を支援し守っていかねばならない。小規模・中小企業振興条例を制定すべきではないか。

市長 条例については先進地を参考に、商工会等の意見も頂きながら研究する。



▲造成が進むうれしの茶交流館現場

うれしの茶交流館の運営は

答 当面は直営で、後に指定管理で

宮崎良平 議員



宮崎 うれしの茶交流館の現在の進捗状況は。

市長 平成27年度に実施計画が完了し、現在造成工事を行っており、今後造成工事完了後、本体工事に入る計画で、設計完了は平成30年3月を目標としている。

宮崎 平成28年度6月

補正予算において4億9524万円が計上され、当初予算と合計すると約5億7400万円の総事業費予定だが、今後増額することはないか。

うれしの茶振興課長 工事費についてはないが、建物内部の事務用品については、次年度計上する。

宮崎 運営についての考えを伺う。

市長 基本的には指定管理制度の運営を考えているが、当面は専門職員を配置し、大体3年を目途に直営方式でおこなう。

宮崎 直営方式または指定管理制度両方における来館者数、およびランニングコストなどの試算はできているのか。

うれしの茶振興課長 直営方式の試算では、年間1万5000人、維持費に2050万円見込む。指定管理制度についてはまだ試算できていない。

宮崎 平成30年3月設計完了まで約1年半。運営においては、より一層綿密な運営計画が必要だと思うがいかがか。

市長 今後またたくさ

消防水利の検討を

んのノウハウを吸収しながら、運営に向けしっかりと取り組んでいく。

宮崎 市内全域の水利を調査し、全消防団員が分団の壁を超えてスマートフォンなどで簡単に水利の位置確認ができるよう、インターネット上の地図に落とし込んでほしいか。

市長 消防水利の情報共有として、現在検討している。まだ提案段階であり、今後掲載にあたり専門的な知識が必要になってくるかと思う。

宮崎 宮崎県えびの市では市内の全水利を無料でグーグルマップをうまく活用し掲載されている。手間はかかるが検討の余地は大いにあると思う。

市長 更に研究をしていく。

市 営住宅のバリアフリーはどうする

生田健児 議員

答 部分的に進めている



生田 市営住宅のバリアフリー化はどうなっているのか。

市長 部分的なバリアフリー化を進めている。

生田 市営住宅の老朽化が進む一方、民間の賃貸物件の空きも目立つ。市が民間の賃貸物件を借上げ、市営住宅扱いにして、対象者に貸し出すようなことはできないか。

市長 以前検討したが、入居者の意見と接点があつていなかった。

生田 嬉野市の人口が減少する中において、現在の市営住宅の規模は維持すべきなのか。

市長 必要な市営住宅については予算を見ながら建て替えをしていくということになる。今後慎重に取り組みをしていきたい。

補助金の考え方はどうか

生田 団体に対する市単独補助金を交付する場合は、何に基づくのか。

市長 嬉野市補助金等交付規則及び補助事業ごとに規定している補助金交付要綱に基づき交付している。

生田 補助金の使われ方の詳細をネット等で誰もがチェックできるように情報公開すべきではないか。

市長 情報公開の適切な手続きをすれば公開できる。

学 校給食費無料化の考えは

山口 要 議員

答 取り組みたいと思っている



山口 学校給食費無料化の取り組みについては、1億円程度の予算がかかるので非常にきつい問題と考えるが、これが一つの流れになりつつある。どのように考えるか。

市長 以前にも試算をしたりして検討した経緯があるので、できることなら取り組みたいと思っ

ているところである。

福祉政策に取り組み

山口 佐賀市が未婚親にも寡婦控除を適用する運用を始めた。本市でも検討すべきではないか。

子育て支援課長 今、制定の準備をしている段階である。できる限り今年度4月にさかのぼって適用できるように制定に向けて努力していきたい。

山口 妊産婦や乳児が、健康診査や予防接種などで、医療機関に通院する際のタクシー料金の一部助成をする「マタニティ子育てタクシー費用助成制度」に取り組んでは。

市長 妊婦の方で厳しい状況の方もおられるので研究をしていきたい。

次期総合計画でどうする

山口 次年度で現在の総合計画の期間が終了するが、次期総合計画の策定に向け、どのように考えているか。

企画政策課長 本年11月にアンケート調査をし、



▲美味しい、楽しい学校給食

来年度早々に審議会を立ち上げ、来年12月をめどに策定していきたい。

山口 策定に当たって、市民意見、特に若い人の意見の吸い上げが必要である。そのための仮称百人委員会みたいな組織も必要ではないか。

市長 立ち上げるべく努力をしていきたい。

山口 小・中学生に、よりふるさとを認識してもらおうテキストとして、総合計画のマンガ版を発行してはどうか。

企画政策課長 より市民と近い総合計画になると思うので、概要版あたりはこのような形で作成をしたいと考えている。

積極的な企業誘致を

山口 災害が少ないという立地条件を活かして売り込みを図っては。

企画政策部長 企業のリスク分散の動きもあるので、優位性を売り込んでいきたい。

コンテンツツーリズムに取り組み

生田 嬉野においてロマンシング佐賀3というイベントが行われたが、状況はどうであったか。

市長 幅広い層の観光客誘致が図られていたと考えている。

生田 漫画やアニメをメインとしたコンテンツツーリズムが、各地でさまざまな形で行われているが、嬉野市としても取

り組むべきではないか。

市長 一つの観光資源に育っていくのではないかと思っている。

生田 福岡や長崎から若い方が定期的に訪れるイベントを開催することによって、地元の若者との交流や地元の魅力アップを図り、より活性化や定住促進を進められないか。

市長 情報を集めながら努力していきたい。



▲バリアフリーを進めたい市営住宅

そして 市の施策に提案

委員会レポート

体験型観光の 商品開発を

総務企画 常任委員会

嬉野市の経済活性化の鍵は、交流人口をいかに増加させるかである。誘客ニーズが今後期待できる体験型観光とふるさと納税で注目を浴びている長崎県最西北端のまち、平戸市の観光施策について調査を行った。

委員会の意見

旅行形態の変化が予想される中、嬉野市の誘客



▲平戸市役所で学ぶ総務企画委員

委員会報告とは

議会には、総務企画・文教福祉・産業建設の3常任委員会があり、市内公共施設や先進地の視察、各種団体等の意見交換などを行い、議会で委員会報告として政策提言を行っている。また、特別委員会も視察など行った時は委員会報告を行う。

にとって体験型の観光は重要な商品の一つになっていくのではないかと考える。市内においては、地場産業や地元の伝統文化であるお祭りなどが体験できるものであると考えられ、体験型の商品となるのかどうかの精査を行い、旅行代理店との連携も図りながら、ブラッシュアップしていく必要があると考える。

また、予約の受付やチケット販売や市内のイベント情報発信などが一カ所で完結する事が、体験型観光はじめ誘客の円滑な運営につながっていくと思う。

今後は、観光担当課と観光協会のワンフロア化を行い、誘客に対しての情報が全て網羅できるような一元管理体制が望ましいのではないかと考える。

常任委員会の構成と担当

産業建設常任委員会	文教福祉常任委員会	総務企画常任委員会
委員長 大島恒典	委員長 山口忠孝	委員長 辻浩一
副委員長 山下芳郎	副委員長 田中平一郎	副委員長 芦塚典子
委員 田口好秋	委員 山口要	委員 田中政司
委員 織田菊男	委員 西村信夫	委員 山口政人
委員 宮崎良平	委員 梶原睦也	委員 増田朝子
委員 生田健児	委員 森田明彦	委員 川内聖二
・建設関係 ・農林関係 ・環境衛生関係 ・産業関係 ・環境水道事業	・健康福祉関係 ・学校教育 ・文化財 ・コミュニティ関係 ・文化・スポーツ振興	・総務関係 ・財政関係 ・企業誘致関係 ・消防関係 ・社会教育 ・商工観光関係

学び



▲鳥栖市役所で研修する文教福祉委員

文教福祉委員 常任委員会

楽しみながら 健康づくりを

健康づくりは、個々人による日頃の運動や食生活の積み重ねの結果であるが、行政も各種検診や健康診査等を積極的に推進している。

「うらら健康マイレージクラブ」の先進的取り組みを行っている鳥栖市について調査を行った。

委員会の意見

健康づくりは、健康寿命を延ばし病気に罹らず心豊かに生きていくための必要条件であり、医療費負担の軽減に役立つ。

鳥栖市が取り組んでいる「うらら健康マイレージクラブ」は一定の効果が見られる。

・学校を通して健康づくりの意識づけが子どもたちができる。

・ポイント制なので楽しみながら取り組める。

・ポイントを地域や学校に寄附して社会貢献ができる。

一方で、課題も散見する。

・担当課の事務作業が増大。

・ポイント交換商品のマシネリ化。

「健康づくり」はまちづくりの視点からも重要になってくるので、このような施策を取り入れたらどうかと思う。

産業建設委員 常任委員会

うれしの茶を 海外へ売り込め

嬉野市における基幹産業であるお茶関連の業界は、国内の消費低迷の影響で大変厳しい経済環境の中にある。そこで嬉野市では、お茶の海外販路開拓を「うれしの茶海外販路開拓戦略」として、ジェットロ（日本貿易振興機構）と協力して推し進めている。この取り組みの現状と今後の展開につ

いて、ジェットロ佐賀貿易情報センターで調査を行った。

委員会の意見

緑茶の輸出が活発化し、輸出量も伸びてきているが、これまでは個々の商社の取り組みが主流であった。「うれしの茶海外販路開拓戦略」のよう



▲ジェットロ事務所で説明を受ける産業建設委員

に、地域をあげて輸出へ取り組むのは珍しくジェットロ佐賀の所長も期待されている。

しかし、残留農薬の問題などの課題も多い。今年度より輸出専用の茶園を設けて栽培に取り組んでいるが、輸出に耐える商品を作り出すためのコストと時間はかかる。そのため、官民（茶商や県・市、JAなど）あわせて取り組む必要があると考える。

次回のテーマ

付託委員会名	付託事件名
総務企画常任委員会	観光施策の連携について
文教福祉常任委員会	読書基本条例について 伝統的建造物群保存地区について
産業建設常任委員会	茶交流館について

厳しーい 嬉野市議会政務活動費



中学生の声
地域に誇れる
学校を目指して
塩田中学校
福田 剛司

「仁義礼智信～地域に誇れる学校にしよう～」をスローガンに、現生徒会が活動を始めて半年が過ぎました。生徒会役員で何度も話し合い、一か月以上かかって決めたこのスローガンには「塩田中学校の一人ひとりが自分自身を見つめ直し、周りの人たちに認めてもらえる行動をすることが、より良い学校づくりにつながる」という思いが込められています。

その実践のために、特に力を入れて行ってきたことが、挨拶、身だしなみ、ボランティア活動です。毎朝のクラスごとの挨拶運動はずっと以前から続く塩田中学校の良さ伝統だと思います。全校生徒がきちんとした身だしなみになるため、各クラスで学級委員や生活委員が呼びかけや点検活動もしています。

ボランティア活動で印象的だったのは3月に実施した東日本復興支援募金です。日本赤十字社の方に募金がどのように使われていくか、お話をしてもらい、手渡すことができました。この活動の直後に熊本で地震があり熊本地震復興募金の活動をしました。みんなの協力の心を感じ、嬉しかったです。

「地域の誇れる学校」を目指して、まだまだ足りない部分が多いと思いますが、先輩方が築き上げてきた塩田中学校の伝統をしっかり受け継ぎ、より良い学校にするため、自分たちにできる活動を日々考え、これからも頑張っていきたいです。

今、問われる 政務活動費

政務活動費の不正支出問題が世間を騒がしている。嬉野市議会でも年間24万円が支給されているが、その実態はどうなっているか疑問に思われる市民の方も多いと思う。自戒の意味も含めてその声に答えたい。

●政務活動費とは

議員活動として必要な調査や研究にかかる費用の支出であり、政策提言や政策立案に資するもの

であると議会基本条例に示している。

●主な使い道の基準は

- ・視察研修の経費
- ・資料や書籍等の購入であり、領収書の貼付が義務づけられている。
- ・また、視察研修の報告書を作成し、全員協議会で報告する。
- ・議員個人の広報に係る経費は認めない
- ・事務機等の環境整備の充当は認めない

●ホームページで公開している内容

- ・議員別支出状況
- ・議員の支出別の書類や

領収書

- ・議員の政務活動報告書
- ・使用できる経費の内容

※誰でも政務活動費の収支報告書等を閲覧できるが、閲覧請求書を出す必要がある。

嬉野市では右記に示したように、閲覧書類はほぼ全てホームページに掲載しているため、無条件に

閲覧可能となっている。

●議員の良識

嬉野市議会では、他の市議会と異なり、会派制を取っておらず、一人一会派であり、個人の責任・良識で政務活動費を使用している。



▲不正な政務活動を伝える新聞

コラム

最近のニュースで、地方議員による政務活動費のたらしめな使われ方の報道を見るにつけ、何とも情けなく感じる▼本来、政務活動費とは、議員の政策能力を高め、資質の向上を目的に、特別に認められた費用であり、あたり前だが私的な支出には一切認められない▼嬉野市議会においては「議会基本条例」を全国に先駆けて制定し、厳格に運用しており、倫理意識のレベルは高いと自負する。議会ホームページでは1円単位までの領収書および、各報告書も公開している▼ただ、今回の事件を他山の石とせず、市民の負託を受けている事を改めて肝に銘じ、精進していきたい。(明彦)

議会広報編集特別委員会

委員長	山下芳郎
副委員長	山口忠孝
委員	山口要
	織田菊男
	芦塚典子
	森田明彦
	川内聖二
	生田健児